



協体さわじふ

「藤沢市体育協会広報」第42号

発行日 平成11年8月5日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2
秩父宮記念体育館内

『会長に就任して』

藤沢市体育協会

会長 小泉勝彦



長きにわたり、会長としてご尽力をいただきました山本捷雄現顧問のあとをうけ、今年度より藤沢市体育協会会長の任をあずかることになりました。前理事長の小泉勝彦でございます。

もとより浅学非才な私故、皆様のご支援ご協力を仰ぎ、一期一会の思いを込めてこの大任を全うしていきたいと願うものでございます。

さて、昨年の「かながわ・ゆめ国体」も行政とともに、バレーボール・サッカー・軟式野球・ヨットの四競技協会は勿論のこと加盟種目協会と多くの市民との連携により、協調心が見事に結集され極めて成功裡に開催されました。全国から来藤された選手団、そして役員の皆様方から、「藤沢にきて良かった。」とのお言葉をいただくほど、喜んでいただけたのも、偏に皆様方のご尽力の賜と心から敬意、感謝を申しあげます。想えば、藤沢市体育協会は戦後間

もない昭和21年に、七競技団体が主体となって藤沢市体育連盟として発足したもので、当時は敗戦の痛手で国民全体が心身ともに荒廃し、社会全体が暗いニュースに覆われていた状況のなか、何か市民に夢を、スポーツを通じて潤いのある生活を、多方面にわたって事業の展開を図るなど、関係諸氏の大変なご苦労があったと聞いております。

こうして時代の変遷にともない、事業も競技そのものも大きく変化の道を進んでいきました。

特に協会の転換期としては、昭和60年に巾広い市民ニーズに応えるべく名称を体育連盟から体育協会に改め組織の充実に加え、新たな事業展開を推進してまいりました。その結果として理事長制度の導入や、自主財源確保の為の賛助会制度の新設・更にはスポーツ人の集い開催など自主事業の拡大に努力を重ねてきました。

又国体と同じ伝統をもつ、只今大会の最中にある藤沢市民総合体育大会も今年で54回を迎え、藤沢市が県下に誇ることができる大会へと発展してまいりました。

組織の中心にある理事会も専門部を具体化することにより、更に充実していくため、総務部・事業部・広報部と三部にわけ、全部の理事がそれぞれに部に所属し、活躍しております。

おかげをもちまして、現在加盟29種目協会によるビックな構成となり体育協会の果す役割が、ますます重要となってまいりました。

世は成熟社会を迎え、経済は未曾有の不況の今、ここにきて金融危機の後退からやや底離れがうかがえるものの尚危さをはらんでおり、我々を取りまく景況も又、誠に厳しいものがあります。

国のまかないから離される地方自治行政も、共生協働の運営を目指す折体育協会は、加盟種目協会のそれぞれの個性を尊重しつつ、棲み分けの精神を基盤に、常に深い洞察・創造性を失わず、時代に合った協会運営を目指して市民スポーツの振興のため努力してまいります。

関係各位の更なるご支援、ご協力をお願い申しあげ、ご挨拶といたします。

7.16

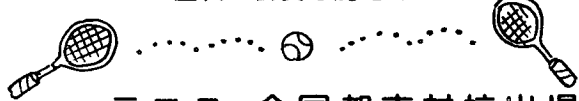
種目協会
 あらかると
 スキー協会

福岡孝行氏(故人)らのご尽力により設立された藤沢スキー協会は、昨年で創立40周年を迎えることが出来ました。創立にあたっては「粹な紳士、安川良彦氏」、「未だ現役レジャー、小林英見氏」のご両名も協会の基礎を築く要となられています。特に小林英見氏はイタリアで行われる、滑走距離約11kmもの大回転レースに出場なさっています。選手の中でも最高齢選手(80才?)です!!であり、地元イタリアの新聞にも紹介されたほどです。藤沢スキー協会のパワーの源かもしれません。協会長は40周年を過ぎた現在、佐藤嘉彦会長が5代目で、それぞれの会長が長く職を勤められています。スキーというスポーツが「生涯スポーツ」の一つである所以でもあります。協会では40周年記念行事として、昨年の9月に片瀬海岸にて180名もの参加による「地引き綱」を行い親睦をはかりました。冬の雪の上とは一風違った、夏の太陽が照りつける中、子供から大人まで、まるで雪合戦をして

いるような大騒ぎの一日でした。今回は10年後の50周年になります。今度ほどどんな楽しい行事が待っていることでしょう。藤沢スキー協会には、誰でも参加して楽しめるスキークラブが11クラブあります。スキーはもちろんスノーボードやクロスカントリー、そして協会員のなかには身障者スキーに力を注ぐ仲間も増えてきています。ウインタースポーツならなんでもこなそうとするパリアルブルな協会になってきています。その現れとして、一昨年の長野オリンピックには、協会クラブから約10名ものボランティアが生まれ、ジャンプ会場、アルペンスキー会場などで



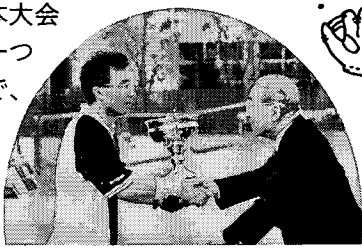
歴代の会長も混えて



テニス 全国都市対抗出場

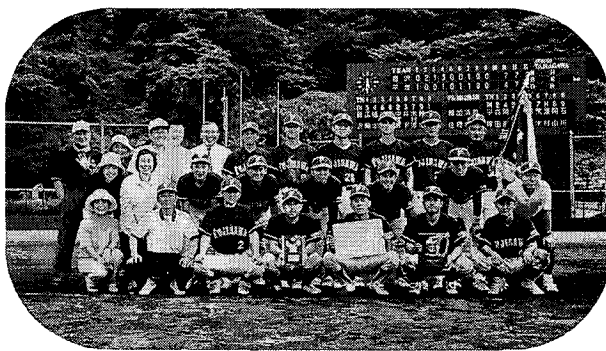
去る4月17日、第23回全日本都市対抗テニス大会神奈川県予選が、厚木市で行われました。この大会で藤沢市は、強豪川崎市を破って初優勝を遂げ、全国大会出場の切符を手に入れました。このことは、当協会の長年の夢であり、協会設立以来の快挙であります。7月22日からの富山市で開催される本大会では、全国に藤沢市の名を轟かせるべく、一つでも多く勝ち進んで行きたいと思っておりますので、皆さまの暖かいご声援をお願いいたします。

働いていました。氷のような硬い滑降コースの中で、夜明け前から準備を行い、大雪にも悩まされたりしましたが、スキーヤーとしてオリンピックに参加したという大切な思い出が残り、その興奮がスキーヤーの普及につながっていくことでしょう。



優勝カップを 県会長から

祝 県 代 表



藤沢市役所野球部のメンバー

目指せ！ 熊本国体！

5月25日、私たち藤沢市役所野球部は、国体軟式野球一般B県大会で初優勝を飾りました。たいした実績もない野球好きの仲間が、コツコツ練習してきた結果として大変うれしく思っています。

8月28日から、埼玉県川口市で行われる関東ブロック予選では、チームカラーの「ひたむき、前向き、全員野球。」の精神で、代表権を勝ちとり、地元神奈川国体優勝杯を全員で、熊本の地へ返還したいと思います。 藤沢市役所野球部一同

平成10年度収支決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減	説明
体協費	15,310,000	15,327,365	17,365	
体協費	15,310,000	15,327,365	17,365	
補助金	5,182,000	5,182,000	0	
委託料	7,430,000	7,430,000	0	
賛助会費	1,650,000	1,658,000	8,000	
分担金	567,000	574,000	7,000	
繰越金	473,680	473,680	0	
雑収入	7,320	9,685	2,365	

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額	支出済額	不用額	説明
体協費	15,310,000	15,167,341	142,659	
運営費	15,310,000	15,167,341	142,659	
事務局費	2,580,000	2,442,069	115,931	
事業費	11,805,000	11,825,272	1,728	
積立金	900,000	900,000	0	
予備費	25,000	0	25,000	

収入済額 15,327,365円
 支出済額 15,167,341円
 差引金額 160,024円

今年度も賛助会員を
 募集しております
 よろしくお願ひ
 致します

平成11年度収支予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額
体協費	13,678,000
体協費	13,678,000
補助金及び交付金	4,612,000
委託料	6,717,000
賛助会費	1,650,000
分担金	536,000
繰越金	160,024
雑収入	2,976

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額
体協費	13,678,000
運営費	13,678,000
事務局費	2,550,000
事業費	10,702,000
積立金	400,000
予備費	26,000

種目協会における会長変更

柔道協会 新会長 河合 正博
 ↓ 旧会長 小川 明
 グラウンドゴルフ協会 新会長 井上正一郎
 ↓ 旧会長 熊山喜三郎
 バウンドテニス協会 新会長 田中 和子

- 平成11年度藤沢市体育協会上年度事業計画
- 藤沢市体育協会では次の事業を展開します。
- 一、評議員会、理事会、常任理事会、専門部会の開催
 - 二、藤沢市体育協会の組織運営に関する研究
 - 三、藤沢市委託事業の実施
 - (1) 第54回藤沢市民総合体育大会開催事業
 - (2) 第50回神奈川県総合体育大会藤沢市代表選手派遣事業
 - (3) スポーツ人の集い講演会の開催
 - 四、加盟種目協会への補助金交付
 - 五、第15回「スポーツ人の集い」開催
 - 六、先進都市体育協会への視察
 - 七、藤沢スポーツ賞(功労者、優秀選手、敢闘選手)の表彰及び各種表彰に関する事業。
 - 八、県外スポーツ交流推進の助成事業
 - 九、賛助会員の拡充
 - 十、広報紙の編集、発行に関する事業
 - 十一、体育史の編纂に関する事業
 - 十二、種目協会会長の開催
 - 十三、スポーツ関係団体との連携充実
 - 十四、法人化へむけての検討
 - 十五、その他体育協会の目的遂行に必要な事業

会長 小泉 勝彦
 副会長 山田 貢
 理事長 久保寺久雄
 青山 俊夫

平成11・12年度新役員紹介

♥ 皆様のご協力で体育協会が更に ◆
 ♣ 飛躍できますよう お願い申し上げます ♠

— 役員 — 同 —

名誉会長 中山 二郎
 顧問 関水 正文
 山本 捷雄
 西島 一光
 関根 智治
 安川 良彦
 藤田 正辰

種目協会	理事	評議員
サッカー(副理事長)	小野 隆弘	蔵内 隆良
ソフトボール(〃)	大縫 光宏	清水 久雄
ソフトテニス(常任)	伊東 満(監事)	杉山 清隆
バレーボール(〃)	川路 久男	瀬戸 邦幸
バスケット(〃)	金子 嗣	大原 晴夫
空手道(〃)	小林 志光	滝内 洋子
弓道(〃)	山本 哲雄	真船 東平
ゲートボール(〃)	林 信好	野澤 正三
学識経験者(〃)	平尾 清勝(スポーツセンター長)	瀧川 一輝
陸上競技	橋本 宰俊	中里 敏
野球	桜井 孝夫	井上 仁一
卓球	坂田 隆	熱田 眞一
水泳	今村もえこ	高野 康亘
剣道	諸節 寛行	渡辺 博美
射撃	鈴木 得郎	東 昭一
山岳	尾崎 樹仙	波多野和敬
柔道	小川 明	大房 英一
スキー	松永 宗嗣	前田 透
バドミントン	野田 豊子	藤田 佳也
テニス	広瀬 稔	高橋陽之助
ラグビー	松久保六男	市川 誠人
ハンドボール	設楽 孝治	塚田 榮
体操	栗原 英昭	嶋田 和夫
ヨット(監事)	小阪 康司	山田 秀幸
ゴルフ	佐々木 保	関根 紀男
ボウリング	根崎 務	石井 泰子
太極拳	伊澤 妙子	今井 渡
グラウンドゴルフ	植田 満	武井 創
アーチェリー	津田徳三郎	加藤 佳子
バウンドテニス	南 英毅	

新規加盟団体紹介

バウンドテニス協会



バウンドテニス競技

バウンドテニスは昭和55年に日本で産声をあげたニューススポーツです。コートは縦10m横3mでテニスコートの1/6の面積。ルールもテニスによく似ています。昭和63年に全国スポーツ・レクリエーション祭の種目に選ばれたことから、全国的に普及しました。藤沢市でも昭和56年に初めて紹介され、平成元年より藤沢市体育指導委員協議会の普及種目として取り上げられ、同時に藤沢市バウンドテニス大会も開催された

のをきっかけに地域に根差したクラブが急速に誕生しました。それを母体に平成5年6月に藤沢市バウンドテニス協会を発足させ、以来、年間3回の大会、2、4回の講習会を行っています。

「いつでも、どこでも、だれにでも」をモットーに、現在の愛好者の年齢層は小学生から70才代と幅広く、また親しみ方も楽しく汗をかく人から全国大会を目指す人までと様々です。秩父宮記念体育館、秋葉台文化体育館の月例開放、小中学校の夜間開放、公民館でのサークルなどで体験できます。気軽にラケットを手にとってみて下さい。

編集後記

毎日、夜遅くまでウインブルドンテニスを見てしまい、なかなか原稿が書けず、締め切り間際に慌てています。こんな不況で、世の中が不安な時は、スポーツが一番です。みなさんも野球やサッカー等々を見たりやったり満喫していることと思います。体育協会の機関紙も興味を持って見ていただけるよう、今回は地元選手の活躍も採り上げました。

みなさまのお手元に届くころは、暑さも本番を迎えていると思いますので、お体に気をつけて活躍してください。

諸節・広瀬理事